



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います

<人口>

男	77,478	(+5)
女	81,024	(+20)
計	158,502	(+25)

<世帯数>

69,176	(+97)
7月1日現在 ()は前月比	



「水」を生かした魅力あるまちづくりを考えた「第1回水都大垣再生会議」



7月7日「川の日」、午後7時7分を実施した「水辺で乾杯」



四季の広場を彩った「レーザーアトラクション」

水都大垣再生プロジェクトスタート！ “水都大垣”の魅力を实感できるまちへ

こんこんと湧き出る良質で豊富な地下水の恵みにより、古くから「水都」と呼ばれてきた大垣のイメージを改めて醸成して、本市の魅力高める「水都大垣再生プロジェクト」がスタートしました。

その第1弾として、7月7日(金)と8日(土)に、水を身近に感じ楽しんでもらう催し「かわまちテラスin湧水水門川」を開催しました。

特別イベントとして、7月7日「川の日」の午後7時7分に全国一斉に乾杯する「水辺で乾杯」を四季の広場で行い、来場した約300人が石田市長の発声に合わせて、花火とともに、本市特産の木枡に入った地酒などを高く掲げて乾杯しました。

また、8日には、同プロジェクトのキックオフとして、湧水の専門家である岐阜協立大学の森誠一教授を招いた市長とのトークセッション「第1回水都大垣再生会議」を市役所1階多目的スペースで開催し、本市の象徴である「水」を生かした魅力あるまちづくりについて、来場者の皆さんと一緒に考えました。

両日とも、「イルミネーション茶屋」や、湧き出る水をイメージした「レーザーアトラクション」を四季の広場で実施して、幻想的な光の空間で彩られたほか、丸の内公園には飲食ブースやテラス席が設けられ、多くの皆さんが水辺での憩いのひとときを楽しみました。

同プロジェクトでは今後、4つの施策体系、①「水都を感じるまちづくり」、②「水都を楽しむにぎわいづくり」、③「水都を生かすものづくり」、④「水都を引き継ぐ歴史づくり」を柱に、“水都大垣”の魅力を实感できる事業を展開し、ブランド力を高めて「選ばれるまち大垣」を実現させていきます。

詳しくは、都市計画課（☎47-8698）へ。



水遊びも楽しめた「かわまちテラス」

8月1日号 主な内容

- ▶ごみ収集の休業、各種手当の現況届などの提出、情報工房交流サロン・第2駐車場の利用停止 など …2～3P
- ▶市職員の人事・給与、市美術展の作品募集 など …4～5P
- ▶募集・講座のお知らせ …6～7P
- ▶催しのお知らせ、市民伝言板、子育て講座 など …8～9P
- ▶健康ガイド …10～11P
- ▶水都まつり、水の都おおがき たらい舟川遊び …12P

水都大垣ブルーライトアップ

8月1日(火)～8日(火)に実施

水の大切さや水資源の重要性を考えてもらう「水の週間（8月1～7日）」に合わせて、全国各地の施設でブルーライトアップが行われます。「水都大垣再生プロジェクト」に取り組んでいる本市においても、水のシンボルモニュメントなどのブルーライトアップを実施します。

なお、本市では「水都っ子ウィーク（8月2～8日）」の期間でもあるため、8月8日まで、次の施設などをライトアップします。詳しくは、都市計画課（☎47-8698）へ。

- 《ライトアップ場所》 午後6時～9時30分
- ★水都タワー（大垣駅南口広場）
 - ★水都の泉「亀の池」（大垣駅南街区広場）
 - ★水都北口オアシス（大垣駅北口広場）
 - ★大垣城
 - ★市役所東側「キューブモニュメント」



ブルーライトアップのイメージ（水都タワー）